

漁師と小さな魚

イソップものがたりより

貧乏な漁師が釣りをしています。残念なことに今日は一ぴきの小さな魚しかつれませんでした。

その小さな魚は、漁師にいいました。

「わたしは、まだこんなに小さいから、つかまえないで海に放してくださいませんか。わたしが大人になって大きな魚になったときに、またつかまえたらどうでしょうか。そのほうが、あなたも得するでしょう」でも漁師は、急いでその小さな魚をバスケットに入れました。

「たとえどんなに大きなえものだって、いつつかまるかあてにはできないものとひきかえに、今ここにつかまえたえものを逃がすほど、ぼくはバカじゃないよ」

すこしの利益も、あてのない利益よりずっと価値がある。

